

イスラム原理主義と テロ行為

ニューヨーク州立大学 伊藤 博

私はニューヨーク州の北に住んでおり、二〇〇一年九月十一日は自宅でその日教える航空法の授業の準備をしていました。

国際テロ団が民間機二機を乗っ取りニューヨーク市の世界貿易センターに激突させたニュースはテレビの現地からの特別放送

で聞きました。その直後、ワシントン国防省やペンシルバニア州の野原にも民間機で同様なテロ行為を行ったことも報道さ

れました。アメリカ政府はサウジアラビア人の過激原理主義者オサマ・ビン・ラディン一味と国際テロ組織アルカイダの仕業と断定して彼らを匿っていたアフガニスタンのタリバン過激原理主義政権を打倒しました。

日本人を含む二千八百人以上の市民が犠牲になったこの同時



多発事件の他にも、一九九七年のエジプトのルクソールで日本人十一名を含む六十二人が襲撃され死亡した事件や一九九九年のウズベキスタンで日本国際協力事業団の技師四名が拉致された事件もアルカイダ武装団一派の仕業とされています。

イスラム教と原理主義

キリスト教、ユダヤ教そしてイスラム教はどれも、唯一のしかも同じ神を信じます。その神は絶対的なもので、いかなるものをも超越しています。アラブ語で神をアラーとよび、神の教えに従うことをイスラムといい、

その教えに従う信者をモスリムと呼びます。世界の人口の五分の一に当たる十三億のイスラム教徒がいると推定され、キリスト教につぐ第二の宗教です。しかも欧米での脱宗教化と逆にイスラム教は世界各地で増えています。イスラム教徒はアラブ人に限りません。トルコ人、イラン人そしてアジアのインドネシアやパキスタンも大半がイスラム教徒です。

イスラム教はイエス・キリストも神の預言者であったことを認めています。キリストより後、西暦五七〇年頃今のサウジアラビアに生まれたモハメッドが最後の預言者と信じています。

天使を介してアラビア語でモハメッドに啓示した神の言葉を収録したコーランを唯一の神の教えとし、これに反する教条を認めません。コーランは倫理、道徳の聖典でありその法典は政治、経済、民事、刑事の全般にわたる生活を拘束する規範です。どの宗教にも多かれ少なかれ共通ですが、特にイスラム教徒は彼らの宗教の唯一性、卓越性を強く主張し、自己の正しさを押し出す独善、偏狭に陥りがちです。正義や公平をコーランに則り定義し、不正を行う者の来世での神の審判を信じます。他人の不正を見逃すイスラム教徒にも神の怒りが降りかかると信じ、神

を畏れます。その反面、絶対神に服従し謙虚になり、人間の弱さを自覚し自己の過ちを認めて神の慈悲を乞います。実際には過激原理主義者は極く少数で、大多数のイスラム教徒は心の安らぎや平穏な生活と平和な社会を願い毎日六信五行の修行に務めています。

経典の細部は大半モハメッドの生前、弟子たちに説いたものですが、全般にコーランは抽象的一般的に書かれています。千三百年の歴史を持つコーランの教義は硬く柔軟性に欠け、容易に新しい社会の慣習に対処できないことが多々あります。モハメッドの死後イスラム教が普及

し各地で新しい問題が起こるごとに、その時々事情に照らしてコーランと法典を解釈し注釈をつけて、実践されてきました。例えば金銭の貸し借りで利子を取ることは禁じられていますが、その後利子は許されるとコーランの解釈が変わり、二十世紀後半には、無利子の金融機関としてイスラム銀行が現れました。

イスラム教には原則として、カトリック教団のようなコーランの教義を画一的に解釈施行する組織や集団はありません。コーランやイスラム法典に精通したイスラム学者とか聖職者がいますが、宗教学の資格があるかどうかを決めるイスラム聖職者た

ちの組織や集団もありません。

都会ではイスラム学者たちがコーランを解釈したり、論争をしながら信者の悩み事の相談役になります。イスラム学者のいない地方や田舎では、一般信者の誰かが同じような役目を果たしています。一般大衆はコーランの教えを勝手に解釈することは許されないので、自分の気に入ったイスラム学者の講話を聞きに集まりその人の解釈に従います。逆に、聖職者はそのようにして信者を増やし知名度を高めます。それでも、オスマン帝国が栄えた時代には皇帝直属の長老の聖職者層が行った聖典と法典の解釈は、イスラム帝国全域に多



大な影響力を及ぼしました。しかし第一次大戦後、帝国が崩壊し幾つもの国家に分裂してからは、コーランの解釈やイスラム社会の内容も多種多様になり、どれが一義的に拘束力のある解釈か解らなくなっています。

イスラム教の発祥したサウジアラビアは最も厳格なイスラム国家です。アラビア半島において、十八世紀半ばイスラム教のワッハブ派は、教祖モハメツドの厳しい戒律を模範としたイスラム社会の再現を目指しました。アラビア人は今でも部族社会なので、まとめるのが難しい人種ですが、サウド家一族はこのワッハブ派教団と連帯し、

アラビア半島の統一拡大に成功しました。サウジアラビア王国は、コーランを憲法とし、イスラム法典を政治や社会の法規とし、ワッハーブ派が政経、文化社会のあらゆる分野でイスラム經典の解釈を通じて強大な影響力を及ぼしています。

しかし、コーランの解釈をめぐって水面下で分裂しています。一九九六年サウジアラビア駐在の米軍住宅が爆発し、十九人が死亡しました。その直後サウジ王室のワッハーブ派神学者たちがこのテロ行為を反イスラム的侵害であると厳しく非難しました。しかし一九九八年にオサマ・ビン・ラディンが中心となり

「ユダヤ人と十字軍に対する聖戦のためと世界イスラム戦線」を結成し王室に挑戦しました。

ビン・ラディンの逃亡先はイスラム教多数派であるスンニ派の国々で、この派には教皇も聖職者集団もおらず、聖戦を宣言しても一般大衆が従うとは限りません。それで、ビン・ラディンはアフガニスタンのタリバン政権の精神指導者ムハンマド・オマル師を使って自らの經典の判断をもって過激原理主義を合法化しイスラム社会を納得させようとした。

原理主義とテロ行為

イスラム原理主義者は独自の主義主張を無謬のものとし、他の宗教との対話を受け容れようとせず、他宗教の信者との共存を認めません。原理主義は宗教に限らず、民族や国家主義にもみられます。さらに、過激な原理主義者になると、他宗教の信者に武力も含めたあらゆる手段を使って独自の主義主張を受け容れさせ、政府に対し暴力や脅威で特定の行動を強要します。東西冷戦中にサウジアラビアがイスラム運動を支持する反面、エジプトのナセル政権がイスラ

ム運動に過酷な弾圧を加えイスラム過激分子を急進化させました。古来アフガニスタンには独自のコーランの解釈があつて部族紛争程度ですんでいましたが、ビン ラディンのようなよそ者の過激原理主義者が入りイスラムを極端に政治化したと言えましょう。

コーランは神から託され人間の生命をむやみに傷つけることを自殺も含めて禁じています。しかし、イスラム国家が社会の秩序維持や正義のために犯罪者を殺傷することは許されています。更に、コーランは教徒に内面的精神的な努力により、より敬虔な信者になることを強いて

いますが、イスラム教の敵と戦う聖戦も許していると解釈されています。聖戦にはイスラム領地のキリスト教やユダヤ教の異教徒に対する防衛のためのものと異教徒の領域に対する攻撃的なものがあります。

聖戦はイスラム学者や長老なら誰でも宣言できます。もっとも、イスラム以前のアラブ部族社会の習慣に始まり、通常は伝統的な合議や諮問を経て決められます。最近では、一九七九年ソ連軍の占領に対してアフガニスタン防衛の聖戦を宣言しましたし、オスマン皇国の時代でもイスラム学者の解釈と裁可を仰いで第一次世界大戦に参加しま

した。さらに、九百年ほど前、エルサレムの聖地に侵略してきたキリスト教十字軍との聖戦は周知の通りです。そして再び、現在イスラム教徒、とりわけ過激原理主義者の間でイスラム社会がユダヤ教徒とアメリカを先頭とする西側キリスト教徒の侵略を受けていると感じています。

ビン ラディンは同時多発事件への直接の関与をはっきりとは認めていませんが、テロ行為を容認しています。しかも、コーランは兵役に服していない一般市民を殺傷することをかたく禁じていますが、ビン ラディンは一般市民も間接的にイスラム活動に参加していると做して

犠牲になっても仕方がないと
いい切っています。エジプトの名
門アズハル イスラム教大学の
ムハマド サイエド タンタウイ
総長もイスラエル軍のパレスチ
ニア人殺害やパレスチニア人の
土地の接収、聖地の占領をテロ
行為と看なしますが、イスラム
の敵であるイスラエルに対して
自らを犠牲にすることは聖戦で



あると言います。と同時に、こ
の総長はビン ラディンは独り
善がりです。イスラム教徒の代弁者
ではないと断っています。

アメリカの同時多発事件で自
爆した十九人のテロリストのう
ち十五名もがイエメンとの国境
近く出身のサウジアラビア人で
国内の開発格差と現政権に批判
的な不満分子でした。ビン ラ
ディンの父親もイエメンに生ま
れ、サウジアラビアで土建業の
ゼネコンとして大富豪となりま
した。ビン ラディンはその遺
産をテロ活動につぎ込んでい
ると言われています。

ビン ラディンを始め過激原
理主義者は中近東のイスラム諸

国での腐敗した閉鎖的な王政に
不満を抱き、国家の枠組みをイ
スラム化し世界中にイスラム社
会を広める意図もあると言われ
ています。又、アラブ諸国は六
〇年代に社会主義的な国造りに
失敗し、石油ブームの七〇年代
の市場経済でも開発発展できま
せんでした。その結果、イスラ
ム原理主義者は石油の資産の不
平等な富の分配に大変不満でし
た。一方では、テロ行為で政府
に対し改革を強要しますが、他
方、理工及び医学系の若い人達
を巻き込んで、病院や学校の経
営、災害、貧困救済など社会福
祉事業に参加し、一般大衆の間
に影響力を伸ばしました。

アメリカへの敵視

過激原理主義者はアメリカを新たな帝国主義、植民地主義と決め付けます。中東の原油確保のためアメリカはアラブの資本

と市場を独占し、イスラム諸国の腐敗政権を支え、伝統的な文化や価値観を崩してきたと非難してきました。マクドナルドに象徴されるアメリカの消費文化が伝統的な消費生活を壊し、自給できるのにわざわざ輸入品を買って、新しい生活様式に変えていかねばならない近代化にも矛盾と圧力を感じています。彼らは国際通貨基金や世界銀行が

欧米の市場原理主義をあまりに単純にバザーや行商のような商業活動しか持たない中近東の発展途上国に当てはめて緊縮財政を強いる結果、貧困層が増えその貧困がテロの温床になっていると非難します。

原理主義者はさらに、アメリカのイスラエル支持をイスラム教徒への敵対行為と決め付けます。ヨルダン川西岸地区と聖地「エルサレム旧市街」のある東エルサレムの占領と同胞パレスチナ人難民問題を全てユダヤ人のイスラム教徒に対する弾圧、迫害とみなし、それを支援しているアメリカをも敵視しています。一九九〇年に勃発した湾岸

戦争後も数千人のアメリカ軍がサウジアラビアに駐留していますが、ビン ラディンはイラクへの爆撃に猛反対したり、米軍のイスラム教の聖地サウジアラビアからの撤退を強く要求しました。これに対して湾岸のイスラム諸国はテロ規制を強化し、ビン ラディンを始め一部の過激派原理主義者たちを海外に追放したぐらいで根本的な処置をとりませんでした。過激派の一部は欧米を拠点として世界中でテロ活動を続けています。

サウジアラビアはもとよりエジプトの様なアラブ諸国では穏健なイスラム学者は政府側からも原理主義者からも抑圧され、

極端な解釈をする過激派に立ち向かえない立場にあります。カ
イロのアズハル教会の一長老が
穏健派の知識人を背教者と断定
したことがあります。すると誰

でも背教者を殺してよいという
風潮があり、この判断を否定す
る別の長老の宣言が出ないまま
この人物は殺害されてしまいま
した。同様にイランのイスラム
教指導者に批判的な「悪魔の歌」
という小説を書いた小説家ソロ
モン ラシテを殺害せよとの宣
告も世界中のスニ派信者に殺
人を犯しても良いという自由手
形を渡したようなものでした。
この様にイスラム教知識人が身
の危険を感じ、テロ行為を非難

できないでいると、穏健な一般
の教徒でもテロ行為が宗教の名
の下に許されると誤解し、非難
するのを自己抑制してしまふ畏
れがあります。

仏教の対応

テロ行為を宗教とは関係のな
い、宗教に名をかけた犯罪だと
片付ける人がいます。しかし、
イスラム教を始め他の宗教にも
暴力を伴う行為を容認するよう
な教義が内在します。原理主義
者は暴力行為を正当化するため
に、そのような暴力行為も教義
の本来の意味に入っており宗教
上許されるのだと都合良く解釈

適用しがちです。一九九五年の
松本サリン事件や坂本弁護士一
家殺害事件、そして東京の地下
鉄サリン事件を引き起こしたオ
ウム真理教がその良い例です。

先ずオウム真理教を宗教と呼ぶ
かどうかの問題ですが、当初政
府が宗教法人を認定したという
意味では宗教でした。しかし、
麻原彰晃の教義はチベット仏教、
ヒンズー教、キリスト教、ゾロ
アスター教などを寄せ集めたも
のです。しかも後、危機感を煽
るためもともと終末論的観点を
もたない仏教を離れキリスト教
の聖書に材料を探しつつ、自ら
をキリストに模していきました。
この様な新興宗教が伝統的な宗

教と同意義の宗教かは大いに疑問で歴史が決めるでしょう。要するに麻原彰晃がテロ行為を正当化するために用いた論法が問題です。彼はオウム教団と日本社会を対立させ、さらに現世の無常を説いた後、第三次世界大戦による破滅を予言しました。

そして、切迫する世界最後の日に行われる善と悪との対決を設定し、オウム教団と釈迦を守り信者を生き延びさせ、靈的に開放することを叫びました。一般市民をポア（殺人）することは真の愛と真の哀れみの現れであり、信者を救済する手段であると正当化しました。東京の地下鉄サリン事件の林郁夫は逮捕後、

手記に「人を傷つけたり、殺すことはどんな目的にせよ決して許されるべきでなく、この宇宙の営みの中に生かされている存在には本来与えられていない手段であると思う」と書いています。しかし、彼が十二人もの人を殺害し五千人以上もの人を傷害した事実はオウム真理教を實現する目的のためには人間の殺傷も許されると解釈していたことを物語っています。つまり、ある教義に複数の意味が内在する場合自分に都合の良い意味を解釈適用し、暴力を伴う無差別テロ行為を正当化しがちです。

イスラム教と仏教には根本的な思想の相違があります。インド仏教の根源をなすヒンズー教の思想には天地を創造したという絶対唯一神はおらず、仏教にもその様な発想はないので、仏教はイスラム信者には無神論と映るでしょう。また、唯一絶対神を信ずるイスラム教徒には神仏混合が異様に思えるでしょう。逆に、たとえ偶像崇拜を禁じるイスラム教であっても仏像を拝む仏教徒の姿はイスラム教徒には神を汚す行為と映るのでしょうか。アフガニスタンのバミヤンの岩窟にあった二、三世紀に彫った大仏像を爆破したタリバンの行為は世界の文化遺産の破壊につながり、仏教徒をはじめ一般人は理解に苦しむでしょう。

う。最後に、仏陀は靈魂の存在を明言しなかつたので、来世の到来と死後の生命を信じて疑わないイスラム教徒に仏教徒は戸惑う場合もあるでしょう。

このような教義上の相違にも係わらず、日本人は中近東において同一の神を信ずるイスラム教、ユダヤ教、キリスト教という異文明社会の衝突を避け対話を促進する仲介者として期待されています。その観点から、二〇〇〇年に外務省も二十一世紀の日本とイスラム社会の関係強化を提言しました。テロ行為はイスラム教の独占ではなくオウム真理教を生んだ日本の土壌にも起こることを自覚した上で、

私達は他の宗教や文化を理解し原理主義者との対話の場を模索することでしょう。

この原稿を仕上げている二〇〇二年十月中旬、インドネシアのバリ島でイスラム過激分子によるテロ行為で二百名ちかくの命が奪われたニュースを聞いています。

